

◇9月議会の特徴

* 9月議会の特徴は、府民の生活を振り返る視点は全くなしで、「大阪都」構想と万博、カジノを中心とした統合型リゾート（IR）推進に邁進

◇加速する府市統合案件

* 堺市が副首都推進本部会議に参加したことで、府と大阪市に堺市も含めた「統合案件」が加速

◇万博・カジノが副首都のインパクトだと

* 2025年に大阪都！？。デメリットについては「聞く耳」もない

* 「都」構想が「副首都」大阪の機能を支える制度だとしていること自体が大きな問題

* 2024年にIR開業へと躍起。環境アセス調査を府市が先取りで行う調査費用予算（7200万円）が可決

* 事業者募集は年内に開始し、来春には決定するというスケジュール。

◇さらなる大型開発に

* 公共交通戦略跡見直しとしてさらに巨額の税金を投入する公共事業

◇削られる府民の暮らし

府議会報告参照

国保・災害・教育はこの後、報告するので割愛

* 児童福祉司配置数は国基準の6割にも満たず、国基準までの増員に8年かかる

* 府大・大阪市大の学費「無償化」は府内に3年前から在住していることなど条件が厳しく、多くの学生の願いに応えるよう改善が必要。

* 大阪産業局を立ち上げ、中小企業支援予算を交付金化。

* 老人医療費助成は来年度末で、激変緩和層置が終わり廃止。

身を肥やす改革のすすすめ

* 議会改革検討協議会から、共産党など少数会派が締め出し。

* 税金から議員の出張に手当拠出、選挙活動もできる公設秘書を雇えるようにすることまで検討。

※市町村議員団と連携し、市民の暮らしを守る政治へと力をあわせていきたい。